

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公開番号】特開 2005-269215 (P2005-269215A)

【公開日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【年通号数】公開・登録公報 2005-038

【出願番号】特願 2004-78415 (P2004-78415)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/335 (2006.01)

G 0 1 T 1/20 (2006.01)

G 0 1 T 1/24 (2006.01)

G 0 3 B 42/02 (2006.01)

H 0 4 N 1/028 (2006.01)

H 0 4 N 5/32 (2006.01)

H 0 1 L 27/14 (2006.01)

H 0 1 L 27/146 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/335 P

G 0 1 T 1/20 F

G 0 1 T 1/24

G 0 3 B 42/02 Z

H 0 4 N 1/028 A

H 0 4 N 5/32

H 0 1 L 27/14 K

H 0 1 L 27/14 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 28 日 (2006.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

積分アンプにより電荷信号の蓄積を開始し、該蓄積の開始から所定のベースラインサンプリング時間経過した時に前記積分アンプから出力され第 1 のローパスフィルタを通過した第 1 の電気信号を保持し、該第 1 の電気信号を保持した後前記積分アンプをリセットする前に前記積分アンプから出力され第 2 のローパスフィルタを通過した第 2 の電気信号と前記第 1 の電気信号との差を求めて信号検出する信号検出方法において、

前記第 1 のローパスフィルタの時定数 および前記ベースラインサンプリング時間 t を、 $t \geq 10 \times$ を満たすような値に設定することを特徴とする信号検出方法。

【請求項 2】

前記第 1 のローパスフィルタの時定数 および前記ベースラインサンプリング時間 t を、 $20 \times t \geq 10 \times$ を満たすような値に設定することを特徴とする請求項 1 記載の信号検出方法。

【請求項 3】

電荷信号を蓄積する積分アンプと、該積分アンプによる電荷信号の蓄積の開始から所定のベースラインサンプリング時間経過した時に前記積分アンプから出力された信号が入力

される第1のローパスフィルタと、該第1のローパスフィルタを通過した第1の電気信号を保持する第1の保持回路と、該第1の保持回路により前記第1の電気信号が保持された後前記積分アンプをリセットする前に前記積分アンプから出力された信号が入力される第2のローパスフィルタと、該第2のローパスフィルタを通過した第2の電気信号を保持する第2の保持回路と、前記第2の電気信号と前記第1の電気信号との差を求めて信号検出する差分回路とを備えた信号検出装置において、

前記第1のローパスフィルタの時定数 および前記ベースラインサンプリング時間 t が、 $t = 10 \times$ を満たすような値に設定されていることを特徴とする信号検出装置。

【請求項4】

前記第1のローパスフィルタの時定数 および前記ベースラインサンプリング時間 t が、 $20 \times t = 10 \times$ を満たすような値に設定されていることを特徴とする請求項3記載の信号検出装置。

【請求項5】

放射線の照射を受けて電荷を蓄積するとともに、該蓄積された電荷に応じた電荷信号を出力する放射線画像記録装置から出力された電荷信号を、請求項1または2記載の信号検出方法を用いて検出することを特徴とする放射線画像信号検出方法。

【請求項6】

請求項3または4記載の信号検出装置と、

放射線の照射を受けて電荷を蓄積するとともに、該蓄積された電荷に応じた電荷信号を前記信号検出装置に出力する放射線画像記録装置とを備えたことを特徴とする放射線画像信号検出システム。